

熱硬化性樹脂高圧化粧板試験方法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	序文	なお, …, 原国際規格を…。	なお, …, 対応国際規格を…。
	2.	<u>JIS B 0601</u> 製品の幾何特性仕様 <u>JIS K 6253</u> 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬 さ試験方法	<u>JIS B 0601</u> 製品の幾何特性仕様(GPS)の 表面性状:輪郭曲線方式一用語, 定義及び 表面性状パラメータ <u>JIS K 6253</u> 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム一 硬さの求め方
	6.2.2	f) 基準亜鉛板 大きさ…。硬さは…平行の 場合 0.42~0.52 GP, 圧延方向に垂直の場 合 0.44~0.57 GP とする。	f) 基準亜鉛板 大きさ…。硬さは…平行の 場合 0.42~0.52 GPa, 圧延方向に垂直の 場合 0.44~0.57 GPa とする。
	6.2.4	l) 2組の…, 再び h)~i)までの…。	l) 2組の…, 再び b)~i)までの…。
	8.2.2.4	容器を均一に加熱できるもの(8.1.3.2)。	容器(8.2.2.2)を均一に加熱できるもの。
	12.1.5	締付け枠…, 試験片にカーボン紙をかける。	締付け枠…, 試験片にカーボン紙を載せ る。
	12.2.2	鋼管製支持台	12.2.2.1 鋼管製支持台
	12.2.2.1	12.2.2.1 鋼球	12.2.2.2 鋼球
	12.2.2.2	12.2.2.2 鋼球保持装置	12.2.2.3 鋼球保持装置
	12.2.2.3	12.2.2.3 案内導管	12.2.2.4 案内導管
	13.3	穴の周縁に, …。	穴の周りに, …。
	14.1.2.1	造影材	造影剤
	14.1.4	電子はかり…, スライド分銅(C)の目盛が …。一致しない場合は, …スライド分銅(C) …。	電子はかり…, 移動すい(錘)(C)の目盛が …。一致しない場合は, …移動すい(錘)(C) …。
	14.2.2.2	サファイヤ製針で, …半径約70 mmのもの。	サファイヤ製針で, …半径約70 μmのも の。
	15.1.5.2	試験片(8.1.4)を作製する。	試験片(15.1.4)を作製する。
	15.2.6	c) 15.2.4で規定した…	c) 15.2.5で規定した…
	15.3.2	汚染材料	材料
	16.3.1	試験をする化粧板…。	試験をする高圧化粧板…。
	16.4.6	a) 製品名称及び種類 b) 使用した装置の詳細 c) 試験片の耐光性 d) 試験方法の規定から外れた事項 e) 試験実施日	a) この規格の番号 b) 製品名称及び種類 c) 使用した装置の詳細 d) 試験片の耐光性 e) 試験方法の規定から外れた事項 f) 試験実施日
	17.2.4.1	最終の温度が…。発熱装置を持ち上げ, …。	最終の温度が…。発熱体支持装置を持ち 上げ, …。
	18.1.2.1	合計…, 試験片が発熱体の上約76 mm…。	合計…, 試験片が発熱体の上76±1.0 mm …。
図25	棒 25	棒 φ25	

区分	位置	誤	正
本体	18.1.5	e) 試験片の軸の方向 f) 化粧面について内曲げ及び外曲げの区別	e) 試験片の曲げ方向 (縦曲げ又は横曲げ) f) 化粧面の内曲げ又は外曲げ
	18.2.2.5	高压化粧板製造業者…。	高压化粧板製造業者…。
	18.2.3	試験片は, 温度が(23±2) °C, …。	試験片は, 温度が23±2 °C, …。
	18.2.5	e) 試験片の主軸方向 f) 内曲げ又は外曲げの区別	e) 試験片の曲げ方向 (縦曲げ又は横曲げ) f) 化粧面の内曲げ又は外曲げ
	18.3.5	g) 内曲げ又は外曲げの区別	g) 化粧面の内曲げ又は外曲げ
	19.2.4.2	溶融した時間と火膨れ時間を秒単位で記録する。	削除
	23.1.5	備考 水が沸騰することで, …。	備考 水が沸騰し蒸発するにつれて, …。
	23.1.7	d) 試験結果の規定から外れた事項	d) 試験方法の規定から外れた事項
	23.2.3.1	外周直径が…(8.1.3.2)。	外周直径が…(8.2.2.2)。
23.2.3.3	固定フレーム 試験片を…(8.1.3.6)。	支持台 試験片を…(8.2.2.5)。	
附属書	2. 引用規格の(I)の内容の欄	CIE Publication No.85 : 1981	CIE Publication No.85 : 1989
	4.5 試験報告の(I)の内容の欄	4.5 実測値又は平均値を…。	4.5 実測値, 及びそれらの平均値を…。
	5. 外観の(I)の内容の欄	5.1.2.2 頭上の蛍光ランプ照度	5.1.2.2 蛍光ランプ照度
	17.2 B法の(I)及び(III)の内容の欄	17.2.4.1 標準温度曲線	17.2.4.1 調整
		18.2.5.1 標準温度曲線	18.2.5.1 調整
		17.2.4.2 試験条件	17.2.4.2 試験操作
	21. 耐ひび割れ性の(I)及び(III)の内容の欄	21.3 試験片の養生	21.3 試験片 試験片の養生
21.3 試験片の養生 (23 °C, 50 %にて…)		21.3 試験片 試験片の養生 (23 °C, 50 %にて…)	
23.2 B法の(IV)の技術的差異の内容の欄	固定フレームを使用し, …。	支持台を使用し, …。	

平成 19 年 11 月 1 日作成